

レビ記

4:13 イスラエルの会衆すべてが迷い出て、すなわち、あることがその集会の目から隠れていて、【主】がしてはならないと命じたすべてのことのうち一つでも行い、後になって責めを覚える場合には、

責めを覚える場合には=(改2)罪に定められる場合には、

責めを覚える=◀ 816. Asham (אָשָׁם) 35回 ▶ 罪責感を感じる、

5:4 また、害になることであれ益になることであれ、誓ったことが何であれ、人が軽々しく口で誓った場合、そのことを知ってはいたものの彼には隠れていて、後になってその一つについて責めを覚える場合――

責めを覚える場合は=(改2)罪に定められる。

5:5 これらの一つについて責めを覚える場合には、自分が陥っていた罪を告白し、

告白=ワダー◀ 3034. yadah(יָדָה) 114回▶感謝する 67回、賛美する 19回、告白 16回、(NAS)(KJV): confess
(現代語)confession=ホダア(הִתְוַדֵּת)

5:16 その人は、その聖なるものに関して罪に陥っていたことの償いをする。それにその五分の一を加えて、祭司に渡す。祭司は、その代償のさきげ物の雄羊をもって彼のために宥めを行い、彼は赦される。

6:5 あるいは、それについて偽って誓った物をすべて返さなければならない。元の物を償い、また、それに五分の一を加えなければならない。彼は自分が責めを覚えるときに、その元の所有者にそれを返さなければならない。

@民事的解決

6:7 祭司は【主】の前でその人のために宥めを行う。彼は、自分が行って責めを覚えるようになったどのことについても赦される。」

@刑事的解決（神事的解決）

6:12 祭壇の火はそのまま燃え続けさせ、それを消してはならない。祭司は朝ごとに、その上に薪をくべ、その上に全焼のささげ物を整え、その上で交わりのいけにえの脂肪を焼いて煙にする。

6:13 火は絶えず祭壇の上で燃え続けさせなければならない。消してはならない。

@代償のささげ物=(改2) 罪過のためのいけにえ

7:1 代償のささげ物についてのおしえは次のとおりである。このささげ物は最も聖なるものである。

@交わりのいけにえにえ=(改2)和解のいけにえ

7:11 【主】に献げられる交わりのいけにえについてのおしえは、次のとおりである。

7:12 もし感謝のためにそれを献げるのなら、感謝のいけにえと一緒に、油を混ぜた種なしの輪形パンと、油を塗った種なしの薄焼きパン、さらに、油を混ぜてよくこねた小麦粉の輪形パンを献げる。

7:13 感謝のための交わりのいけにえと一緒に、種入りの輪形パンを献げる。

7:14 そして、それぞれのささげ物から一つずつを取り、【主】への奉納物として献げる。これは、交わりのいけにえの血を振りかける祭司のものとなる。

7:15 感謝のための交わりのいけにえの肉は、それが献げられるその日に食べ、少しでも朝まで残しておいてはならない。

7:11 【主】に献げられる交わりのいけにえについてのおしえは、次のとおりである。

交わりのいけにえ=和解のいけにえ = (חַשְׁלוֹמִים) ha shalom im ハシャローム

◀ 8002.(שְׁלֵמִים) shelem 87 回 ▶ Peace offering

7:12 もし感謝のためにそれを献げるのなら、感謝のいけにえと一緒に、油を混ぜた種なしの輪形パンと、油を塗った種なしの薄焼きパン、さらに、油を混ぜてよくこねた小麦粉の輪形パンを献げる。

感謝=トダ ◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶ 意味は「感謝」

7:13 感謝のための交わりのいけにえと一緒に、種入りの輪形パンを献げる。

感謝=トダ ◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶ 意味は「感謝」

ヤダの派生語 ◀ 3034. yadah(יה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

@子の箇所ですべて初めてトダが歌として登場する。

7:15 感謝のための交わりのいけにえの肉は、それが献げられるその日に食べ、少しでも朝まで残しておいてはならない。

感謝=トダ ◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶ 意味は「感謝」

ヤダの派生語 ◀ 3034. yadah(יה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(改 2)和解のための感謝のいけにえの肉は

(NKJ) The flesh of the sacrifice of his peace offering for thanksgiving

感謝のための交わりのいけにえ = (תּוֹדַת שְׁלָמִים) towdat selamaw トダッ

セラマウ

◀ 8002.(שְׁלֵמִים) shelem 87 回 ▶ Peace offering

レビ 22:29 【主】に感謝のいけにえを献げるときは、あなたがたが受け入れられるように、それを献げなければならない。

感謝=トダ ▶ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶ 意味は「感謝」。(現へ)でも「感謝」

7:23 「イスラエルの子らに告げよ。あなたがたは、牛であれ、羊であれ、やぎであれ、そのどの脂肪も食べてはならない。

7:24 動物の死骸にある脂肪や、野獣にかみ裂かれた動物の脂肪は、何に使っても差し支えない。しかし、決してそれを食べてはならない。

7:25 食物のささげ物として【主】に献げられた、動物の脂肪を食べる者はみな、自分の民から断ち切られるからである。

レビ 8:27 それから彼は、そのすべてをアロンの手のひらとその子らの手のひらに載せ、奉献物として【主】の前で揺り動かした。

(KJV) Leviticus 8:27 And he put all upon Aaron's hands, and upon his sons' hands, and waved them for a wave offering before the LORD.

奉献物として【主】の前で揺り動かした。 = ▶ 8573. tenuphah (תנופה)(テヌファー)30 回 ▶ を

◀ 5130. nuph (נִפּוּף)(ヌーフ) 37 回・動かす、揺らす ▶ する。

◀ 8573. tenuphah (תנופה)(テヌファー)30 回 ▶ (N) 捧げもの、奉献物。

(テヌファー)は 30 回中次の 2 つ以外はすべて奉献物

イザ 19:16 その日、エジプト人は女のようになり、万軍の【主】が自分たちに向かって振り上げる御手の前に、恐れおののく。

イザ 30:32 【主】が下す懲らしめの杖がしなるたびに、タンバリンと豎琴が鳴らされる。主は武器を振り回して、これと戦う。

出 29:24 そして、そのすべてをアロンの手のひらとその子らの手のひらに載せ、奉獻物として【主】の前で揺り動かす。

出 29:26 アロンの任職のための雄羊の胸肉を取り、これを奉獻物として【主】に向かって揺り動かす。これは、あなたの受ける分となる。

出 29:27 アロンとその子らの任職のための雄羊の、奉獻物として揺り動かされた胸肉と、奉納物として献げられたもも肉とを聖別する。

(KJV) of the wave offering

出 35:22 進んで献げる心のある者はみな、男も女も、飾り輪、耳輪、指輪、首飾り、すべての金の飾り物を持って来た。金の奉獻物を【主】に献げる者はみな、そのようにした。

出 38:24 聖所の設営のすべてにおいて、その仕事のために用いられた金、すなわち奉獻物の金の総計は、聖所のシェケルで二十九タラント七百三十シェケルであった。(KJV) of the offering,

出 38:24 聖所の設営のすべてにおいて、その仕事のために用いられた金、すなわち奉獻物の金の総計は、聖所のシェケルで二十九タラント七百三十シェケルであった。

9:22 こうして、アロンは民に向かって両手を上げ、彼らを祝福し、罪のきよめのささげ物、全焼のささげ物、交わりのいけにえを献げ終えて壇から降りて来た。

祝福する＝バラク・1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改4)

レビ 9:23 モーセとアロンは会見の天幕に入り、そこから出て来て民を祝福した。すると【主】の栄光が民全体に現れ、

9:24 火が【主】の前から出て来て、祭壇の上の全焼のささげ物と脂肪を焼き尽くした。民はみな、これを見て喜び叫び、ひれ伏した。

火が下った＝ペンテコステの型

イエスも昇天の前にベタニヤで手を上げて祝福した。その後ペンテコステに火が下った。

ルカ 24:50 それからイエスは、弟子たちをベタニアの近くまで連れて行き、手を上げて祝福された。

(TR) 弟子たちをベタニアまで連れて行き

(改2)彼らをベタニヤまで連れて行き

@ベタニヤ＝悩むものの家の意味 昇天の地（オリーブ山ではない）

@使徒の働き 1章に「オリーブ山から帰った」という記述はあるが、そこが昇天の地とは書いていない。

@手を上げて祝福

使徒 2:3 また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。

12:4 彼女は血のきよめのために、さらに三十三日間こもる。そのきよめの期間が満ちるまでは、いかなる聖なるものにも触れてはならない。また聖所に入ってはならない。

聖所=◀ 4720. miqdash (מִקְדָּשׁ) 74回▶聖なる場所、聖所

@ 女性も入れる場所のようだ

13:3 祭司は、そのからだの皮膚の患部を調べる。その患部の毛が白く変わり、

患部がそのからだの皮膚よりも深いところに見えているなら、それはツアラアトに冒された患部である。祭司はそれを調べ、彼を汚れていると宣言する。

13:6 祭司は七日目に再び彼を調べる。もし患部が薄れ、その患部が皮膚に広がっていなければ、祭司は彼をきよいと宣言する。それは、かさぶたである。彼は自分の衣服を洗う。こうして彼はきよくなる。

13:13 祭司がそれを調べる。もし、そのツアラアトがその人のからだ全体をおおっているなら、祭司はその患者をきよいと宣言する。すべてが白く変わったので、彼はきよい。

13:17 祭司は彼を調べる。もしその患部が白く変わっているなら、祭司はその患部をきよいと宣言する。彼はきよい。

13:20 祭司が調べて、もしそれが皮膚よりも深いところに見え、そこの毛が白く変わっているなら、祭司は彼を汚れていると宣言する。それはそのできものに生じた、ツアラアトに冒された患部である。

13:23 もしその斑点が元のままであり、広がっていなければ、それはできものの跡である。祭司は彼をきよいと宣言する。

13:25 祭司はこれを調べる。もし斑点の上の毛が白く変わり、それが皮膚よりも深いところに見えるなら、それは火傷に生じたツアラアトである。祭司は彼を汚れていると宣言する。それはツアラアトに冒された患部である。

13:27 それから七日目に祭司は彼を調べる。もしも、それが皮膚に広がっていくようなことがあるなら、祭司は彼を汚れていると宣言する。これはツアラアトに冒された患部である。

13:30 祭司はその患部を調べる。もしそれが皮膚よりも深いところに見え、そこに細い黄色の毛があるなら、祭司は彼を汚れていると宣言する。これは疥癬で、頭またはひげのツアラアトである。

13:42 もしその頭のはげか額のはげに、赤みがかった白い部分があるなら、それは頭のはげに、あるいは額のはげに生じたツアラアトである。

13:44 彼はツアラアトに冒された者であって、この者は汚れている。祭司は彼を汚れていると必ず宣言する。その患部が頭にあるからである。

13:47 衣服にツアラアトに冒された箇所が生じた場合は、羊毛の衣服でも、亜麻布の衣服でも、

13:49 冒された箇所が緑がかったり赤みを帯びたりしているなら、衣服でも皮でも織物でも編物でも、またいかなる皮製品でも、それはツアラアトに冒された箇所である。それを祭司に見せる。

13:51 七日目に彼は、冒された箇所がある物を調べる。それが衣服でも織物でも編物でも皮でも、また皮が何に用いられていても、それらに冒された箇所が広がっているとき、その箇所は悪性のツアラアトで、それは汚れている。

13:52 羊毛のものであれ亜麻のものであれ、衣服、あるいは織物でも編物でも、またいかなる皮製品でも、冒された箇所がある物は焼く。これは悪性のツアラアトであるから、火で焼かなければならない。

13:59 以上は、羊毛または亜麻布の衣服、織物、編物、すべての皮製品の、ツアラアトに冒された箇所についてのおしえであり、それをきよい、あるいは汚れていると宣言するためである。

14:5 祭司は、その小鳥のうちの一羽を、新鮮な水を入れた土の器の上で殺す

ように命じる。

14:7 それを、ツアラアトからきよめられる者の上に七度かけ、彼をきよいと宣言し、さらにその生きている小鳥を野に放す。

@祭司の一方的な行動=らい病人は黙って待っているのみ

@祭司としての私たちの役割は、罪の赦しを宣言すること

15:2 「イスラエルの子らに告げよ。だれでも、隠しどころから漏出があったなら、その漏出物は汚れている。

隠しどころ=◀ 1320. basar (בָּסָר) 270 回▶肉、身体

@ 隠しどころに漏出 = (共) 尿道に炎症 (KJV) his flesh (へ)mibbasarow((בָּסָר)basar 270 回)体、肉

レビ 15:18 男が女と寝て交わったなら、二人はともに水を浴びる。彼らは夕方まで汚れる。

交わったなら=寝て交わったなら=(へ)寝て精を漏らしたなら、

(KJV) Also, when a woman lies with a man, and there is an emission of semen

(へ) ヘブライ語の文章も KJV と同じ。KJV は忠実に翻訳している

二人はともに=精の漏出についてのさだめは男と寝た女にも当てはまる。

15:19 女に漏出があり、漏出物がからだからの血であるなら、彼女は七日間、月のさわりの状態になる。だれでも彼女に触れる者は夕方まで汚れる。

女に漏出があり = (共) 女性の生理が始まったならば

月のさわりの状態 = ◀ 5079. Niddah(נדדה)(ニダ) 29 回 ▶ 汚れ (特に生理の汚れ)

(共) 月経期間

15:32 以上が、**漏出**のある者、精を漏らして汚れた者、

漏出 = ◀ 2100.(זרב) zub 42 回 ▶ 流出、流れる

出エジプト 3:8 わたしが下って来たのは、エジプトの手から彼らを救い出し、その地から、広く良い地、乳と蜜の流れる地に、カナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人のいる場所に、彼らを導き上るためである。

ただし、似た単語として、◀ 2101.(זרב) zob 13 回 ▶ がある。意味は discharge (13 回)。

登場するのは 13 回とも全部レビ記で、同じような用法です。その両者を使い分ける意味は不明。もしかしたら、聖書学者の勘違い？

@漏出のある者 = (共) 尿道の炎症による漏出のある者

16:16 彼はイスラエルの子らの汚れと背き、すなわちそのすべての罪を除いて、聖所のための宥めを行う。彼らの汚れのただ中に、彼らとともにある会見の天幕にも、このようにする。

16:17 彼が宥めを行うために聖所に入って、再び出て来るまで、だれも会見の天幕の中にはならない。彼は自分と自分の家族、それにイスラエルの集会全体のために宥めを行う。

レビ 16:21 アロンは生きている雄やぎの頭に両手を置き、その上で、イスラエルの子らのすべての**咎**とすべての**背き**、すなわちすべての**罪**を**告白**する。

これらをその雄やぎの頭の上に載せ、係りの者の手でこれを荒野に追いやる。

告白する=ワダー ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白する 16 回、

(NAS)(KJV): confess

(現代語)confession=ホダア(הוֹדָא)

◀ 5771. Avon(אָוֹן)(アボン)231 回 ▶ 咎 iniquities

◀ 6588. pasha(פָּשָׂא)(ペシヤ) 9 3 回 ▶ 背き transgressions

◀ 2403. chatta'ah(חָטָאָה)(ハタア) 294 回 ▶ 罪、sin

@大贖罪日 (レビ 23 : 22 - 27)

16:29 次のことは、あなたがたにとって永遠の掟となる。第七の月の十日には、あなたがたは自らを戒めなければならない。この国に生まれた者も、あなたがたの中に寄留している者も、いかなる仕事もしてはならない。

16:30 この日は、あなたがたをきよめようと、あなたがたのために宥めが行われるからである。あなたがたは【主】の前ですべての罪からきよくなる。

16:31 これがあなたがたの全き休みのための安息日であり、あなたがたは自らを戒める。これは永遠の掟である。

16:32 油注がれ、父に代わって祭司として仕えるために任命された祭司が、宥めを行う。彼は亜麻布の装束、すなわち聖なる装束を着ける。

16:33 彼は**至聖所**のための宥めを行い、また会見の天幕と祭壇のための宥めを行う。彼はまた、祭司たちと集会のすべての民のための宥めを行う。 .

@至聖所と言うことばは初登場。

聖所としては 4 回目 (1 回目は出 15:17)

至聖所=(שִׁקְדָּה)(שִׁקְדָּה) miqdas haqqodes =◀ 4720. miqdash or miqqedash 74
回▶聖所+◀ 6944. qodesh ▶聖なる

会見の天幕=(מִוֶּה)(לָהּ) ohel mowed

16:34 以上のことは、あなたがたにとって永遠の掟となる。これは年に一度イスラエルの子らのために行われる、彼らのすべての罪を除く宥めである。」
モーセは【主】が命じられたとおりに行った。

@大贖罪日、ヨム・キプール

レビ 23:27 「特にこの第七の月の十日は宥めの日であり、あなたがたのために聖なる会合を開く。あなたがたは自らを戒め、食物のささげ物を【主】に献げなければならない。

23:28 その日のうちは、いかなる仕事もしてはならない。その日が宥めの日であり、あなたがたの神、【主】の前であなたがたのために宥めがなされるからである。

23:29 その日に自らを戒めない者はだれでも、自分の民から断ち切られる。

23:30 だれでも、その日に少しでも仕事をする者は、わたしはその人をその民の間から滅ぼす。

23:31 いかなる仕事もしてはならない。これは、あなたがたがどこに住んでいても代々守るべき永遠の掟である。

23:32 これは、あなたがたの全き休みのための安息日である。あなたがたは自らを戒める。その月の九日の夕暮れには、その夕暮れから次の夕暮れまで、あなたがたの安息を守らなければならない。」

ヘブル 9:26 もし同じだとしたら、世界の基が据えられたときから、何度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかし今、キリス

トはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。

エゼキエル 36:23 わたしは、あなたがたが国々の間で汚したわたしの
大いなる名が、聖であることを示す。あなたがたが彼らのただ中で
汚した名である。わたしが彼らの目の前に、わたしがあなたがたのう
ちで聖であることを示すとき、国々は、わたしが【主】であることを
知る——【神】である主のことば——。

17:10 イスラエルの家の者、あるいは彼らの間に寄留している者のだれであつても、どんな血でも食べるなら、わたしはその血を食べた者に敵対してわたしの顔を向け、その人をその民の間から断ち切る。

17:11 実に、肉のいのちは血の中にある。わたしは、祭壇の上であなたがたのたましいのために宥めを行うよう、これをあなたがたに与えた。いのちとして宥めを行うのは血である。

18:6 だれも、自分の肉親の者に近づき、相手の裸を あらわにして ~~交わって~~ はならない。わたしは【主】である。

18:7 父の裸をあらわにすること、すなわちあなたの母の裸を あらわにする ことをしてはならない。彼女はあなたの母である。彼女の裸をあらわにしてはならない。

・・・ （これ以後、19 節かその先までパターンを変えて戒めが続く）

あらわにした=(改2)犯した=◀ 1540. Galah(גָּלָה)(ガ^ラア) 185回▶(V)取り除く、

「交わって」は補足。「あらわにする」の意味をはっきりさせるために「交わる」という言葉が付け足された。

(改2) 18:6 あなたがたのうち、だれも、自分の肉親の女に近づいて、
これを犯してはならない。わたしは主である。

18:28 あなたがたがその地を汚し、その地が、あなたがたより前にいた異邦の民を吐き出したように、あなたがたを吐き出すことのないようにするためである。

レビ 19:4 あなたがたは**偶像**の**神々**に心を移してはならない。また、自分たちのために鑄物の神々を造ってはならない。わたしはあなたがたの神、【主】である。

偶像 = ◀ 457. elil (אֱלִיל) 20 回 ▶ (A) 不十分な、無価値の (N) 偶像

偶像という単語は他にもある ◀ 6459. pesel (פֶּסֶל) 30 回 ▶ (N) 偶像、イメージ (ほとんど偶像の意味)

出 20:4 あなたは自分のために**偶像**を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。

神々 = 430 エロヒム

レビ 19:24 四年目に、その実はすべて聖なるものとなり、【主】への**賛美**のささげ物となる。

@ 賛美 = (改4) で最初に登場する「賛美」という言葉

賛美 = ◀ 1974. hillul (חִלּוּל) 2 回 ▶ 喜び、賛美

語源はハラル◀ 1984. halal (ハラル)165回▶輝く

@ヒルルが2回目に登場するのは士師記9：27です。

士 9:27 住民たちは畑に出て行って、ぶどうを収穫して踏み、祭りを催して自分たちの神の宮に入って行き、食べたり飲んだりしてアビメレクをののしった。

しかし、この単語は士師記で「祭り」と訳されていることからわかるように、私たちがイメージする賛美とは異なります。

語源はハレルヤでおなじみの「ハラル◀ 1984. halal (ハラル)165回▶輝く」なのでまあ、賛美ですが、音楽による賛美というほどではありません。

19:28 あなたがたは、死人のために自分のからだに傷をつけてはならない。また自分の身に入れ墨をしてはならない。わたしは【主】である。

(へ) 死人のために「傷◀ 8296. Seret (שֶׁרֶט) 2回▶ incision(切ること)」をつけてはならない。また自分の身体に「(しては)◀ 5414. Nathan▶」ならない。そして、あなたに「◀ 7085. Qaaqa (קָאָקָא) 1回▶ an incision(切ること), imprint(刻印), tattoo(入れ墨)」してはならない。

傷＝ ◀ 8296. Seret (שֶׁרֶט) 2回(N)▶ incision(切ること)

(する)＝◀ 5414. Nathan (נָתַן) 2011回(V)▶

入れ墨＝◀ 7085. Qaaqa (קָאָקָא) 1回(N)▶ an incision(切ること), imprint(刻印), tattoo(入れ墨)

19:32 あなたは白髪の老人の前では起立し、老人を敬い、またあなたの神を恐れなければならない。わたしは【主】である。

@老人には席を譲ること

20:17 人がもし自分の姉妹、すなわち父の娘か母の娘を妻とし、自分の姉妹の裸を**見て**、女もその人の裸を**見た**なら、これは恥ずべきことである。同族の目の前でその人たちは断ち切られる。その人は自分の姉妹の裸を**あらわにした**のである。その咎を負わなければならない。

見る = (改2)見る = ◀ 7200.(ראה) raah 1306回 ▶ 意味は「見る」

数多くの意味があるが、ほとんどは見ることに関連したものである。性交を意味する言葉に翻訳されることは無いが、文脈によって、その意味を読み取らなければならない。

あらわにした = (改2)犯した = ◀ 1540. Galah(גָּלָה)(ガラア) 185回 ▶ (V)取り除く、

@これを根拠に創世記 9:22 「カナン之父ハムは、父の裸を見て、外にいるふたりの兄弟に告げた。」

ハムが父を男色したと解釈する人がいるが無理があると思う。

レビ記は「めとり」「男が彼女を見」「女が彼を見る」創世記は単に「見た」

21:5 頭を剃ってはならない。ひげの両隅を切り落としてもいけない。からだにいかなる**傷もつけては**ならない。

傷 = ◀ 8296. Seret (סָרַט)(セレッ) 2回(N) ▶ 傷、incision(切ること)

つける = ◀ 8295. sarat (סָרַט)(サラッ) ▶ 3回 傷をつける

22:20 欠陥のあるものは、どのようなものでも献げてはならない。あなたがたの代わりにそれが受け入れられることはないからである。

22:29 【主】に感謝のいけにえを献げるときは、あなたがたが受け入れられるように、それを献げなければならない。

感謝のいけにえ = a sacrifice of thanksgiving

感謝 = トダ(名詞) ◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶ 意味は「感謝(18回)」 告白(1回)(新改訳)、聖歌隊 3 回(新改訳)

いけにえ = ◀ 2077. zebach (זָבַח)(ゼバク) 162 回 ▶ いけにえ

23:3 六日間は仕事をする。しかし、七日目は全き休みのための安息日、聖なる会合の日である。あなたがたは、いかなる仕事もしてはならない。この日は、あなたがたがどこに住んでいても【主】の安息日である。

@安息日

23:4 あなたがたが定期的に召集しなければならない聖なる会合、【主】の例祭は次のとおりである。

23:5 第一の月の十四日には夕暮れに過越のいけにえを【主】に献げる。

23:6 この月の十五日は【主】への種なしパンの祭りである。七日間、あなたがたは種なしパンを食べる。

@過ぎ越し

23:10 「イスラエルの子らに告げよ。あなたがたがわたしが与えようとしている地に入り、収穫を刈り入れたなら、収穫の初穂の束を祭司のところに持って行きなさい。

23:11 その束は【主】の前で揺り動かす。あなたがたが受け入れられるためである。祭司は安息日の翌日、それを揺り動かさなければならない。

@初穂の祭り

23:15 あなたがたは、安息日の翌日から、奉獻物の束を持って行った日から満七週間を数える。

23:16 七回目の安息日の翌日まで五十日を数え、あなたがたは新しい穀物のささげ物を【主】に献げる。

@五旬節

23:22 あなたがたの土地の収穫を刈り入れるときは、刈るときに畑の隅まで刈り尽くしてはならない。あなたの収穫の落ち穂も集めてはならない。貧しい人と寄留者のために、それらを残しておかなければならない。わたしはあなたがたの神、【主】である。」

23:24 「イスラエルの子らに告げよ。第七の月の一日はあなたがたの全き休みの日であり、角笛を吹き鳴らして記念する聖なる会合を開く。

@ラッパの祭り、(今日のロシュ・ハシャナー)

この時が新年となった経緯は不明。おそらくバビロン捕囚

@大贖罪日 (レビ16 : 29 - 34)

23:27 「特にこの第七の月の十日は宥めの日であり、あなたがたのために聖なる会合を開く。あなたがたは自らを戒め、食物のささげ物を【主】に献げなければならない。

23:28 その日のうちは、いかなる仕事もしてはならない。その日が宥めの日であり、あなたがたの神、【主】の前であなたがたのために宥めがなされるからである。

23:29 その日に自らを戒めない者はだれでも、自分の民から断ち切られる。

23:30 だれでも、その日に少しでも仕事をする者は、わたしはその人をその民

の間から滅ぼす。

23:31 いかなる仕事もしてはならない。これは、あなたがたがどこに住んでいても代々守るべき永遠の掟である。

23:32 これは、あなたがたの全き休みのための安息日である。あなたがたは自らを戒める。その月の九日の夕暮れには、その夕暮れから次の夕暮れまで、あなたがたの安息を守らなければならない。」

レビ 16:29 次のことは、あなたがたにとって永遠の掟となる。第七の月の十日には、あなたがたは自らを戒めなければならない。この国に生まれた者も、あなたがたの中に寄留している者も、いかなる仕事もしてはならない。

16:30 この日は、あなたがたをきよめようと、あなたがたのために宥めが行われるからである。あなたがたは【主】の前ですべての罪からきよくなる。

16:31 これがあなたがたの全き休みのための安息日であり、あなたがたは自らを戒める。これは永遠の掟である。

16:32 油注がれ、父に代わって祭司として仕えるために任命された祭司が、宥めを行う。彼は亜麻布の装束、すなわち聖なる装束を着ける。

16:33 彼は至聖所のための宥めを行い、また会見の天幕と祭壇のための宥めを行う。彼はまた、祭司たちと集会のすべての民のための宥めを行う。 .

16:34 以上のことは、あなたがたにとって永遠の掟となる。これは年に一度イスラエルの子らのために行われる、彼らのすべての罪を除く宥めである。」 モーセは【主】が命じられたとおりに行った。

@大贖罪日、ヨム・キプール

ヘブル 9:26 もし同じだとしたら、世界の基が据えられたときから、何度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかし今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。

23:27 「特にこの第七の月の十日は宥めの日であり、あなたがたのために聖なる会合を開く。あなたがたは自らを戒め、食物のささげ物を【主】に献げなければならない。

23:28 その日のうちは、いかなる仕事もしてはならない。その日が宥めの日であり、あなたがたの神、【主】の前であなたがたのために宥めがなされるからである。

@贖罪の日（大贖罪日）

23:34 「イスラエルの子らに告げよ。この第七の月の十五日には、七日間にわたる【主】の仮庵の祭りが始まる。

@仮庵の祭り

ゼカリヤ 14:16 エルサレムに攻めて来たすべての民のうち、生き残った者はみな、毎年、万軍の【主】である王を礼拝し、仮庵の祭りを祝うために上って来る。

23:35 最初の日には、聖なる会合を開く。あなたがたは、いかなる労働もしてはならない。

25:1 【主】はシナイ山でモーセにこう告げられた。

@安息の年、借金や失ったものを回復するのは主の御心、無条件の憐れみ

25:10 あなたがたは五十年目を聖別し、国中のすべての住民に解放を宣言する。これはあなたがたのヨベルの年である。あなたがたはそれぞれ自分の所有地に帰り、それぞれ自分の家族のもとに帰る。

@ヨベルの年

@自分の所有地に帰る＝ 所有地の返却を受ける (共) 25:13 ヨベルの年には、所有地の返却を受ける。

25:13 このヨベルの年には、あなたがたはそれぞれ自分の所有地に帰る。

@ (共) 25:13 ヨベルの年には、おのおのその所有地の返却を受ける。

@失われたものや、借金が回復されるのは主の御心である。

@自由人にとって、解放の年は喜びであるが、自分は豊かだと思っていた奴隷にとっては喪失の時

@奴隷は所有地を受けても解放のときまでしか所有できない。

エゼキエル 46:16 【神】である主はこう言われる。「もし君主が、贈り物として自分の相続地を自分の息子たちに与えるなら、それは息子たちのものとなり、それは相続地として彼らの所有地となる。

46:17 しかし、もし君主が自分の相続地の一部を、贈り物として奴隷の一人に与えるなら、それは解放の年まではその奴隷のものであるが、その後で君主に返される。ただ息子たちだけが、相続地を自分のものとすることができる。

レビ 25:21 わたしは六年目に、あなたがたのためにわたしの**祝福**を命じ、三年分の収穫を生じさせる。

祝福 (名詞) = バラカ(名詞) ◀ 1293.(בָּרַךְ) berakah 69 回▶ 祝福。

25:23 土地は、買い戻しの権利を放棄して売ってはならない。土地はわたしの

ものである。あなたがたは、わたしのもとに在住している寄留者だからである。

レビ 25:42 彼らは、わたしがエジプトの地から導き出した、わたしのしもべである。奴隷の身分として売られてはならない。

しもべ=(改2)奴隷=◀ 5650. (עבד) ebed 800 回▶しもべ (動詞の◀ 5647. abad ▶の名詞形)

26:1 あなたがたは自分のために偶像を造ってはならない。また自分のために彫像や石の柱を立ててはならない。あなたがたの地に石像を立てて、それを拝んではならない。わたしがあなたがたの神、【主】だからである。

拝んで=シャハー◀ 7812. shachah (שחח) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS)(KJV)(INT) *bow (改4)拝んで

レビ 26:8 あなたがたの五人は百人を追い、百人は一万人を追う。あなたがたの敵はあなたがたの前に剣によって倒れる。

26:22 わたしはまた、あなたがたの間に野の獣を放つ。これはあなたがたから子を奪い、家畜を絶えさせ、あなたがたの数を減らす。こうして、あなたがたの道は荒れ果てる。

26:31 わたしはあなたがたの町々を廢墟とし、あなたがたの聖所を荒れ果てさせる。わたしはあなたがたの芳ばしい香りをかぐことはしない。(廢墟とするは別のことば◀ 2723. chorbah 42 回：廢墟▶)

26:32 わたしはその地を荒れ果てさせ、そこに住むあなたがたの敵はそれを見て啞然とする。

荒れ果てさせる & 啞然とする = ◀ 8074. Shamem (שָׁמַם) 86 回 ▶ 荒れさせる、
荒れ果てさせると啞然とするが同じ意味であることの良い例の御言
葉

イザヤ 59:16 主は人がいないのを見て、**とりなす**者がいないこ
とに**啞然とされた**。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、
ご自分の義を支えとされた。

I 列王 9:8 この宮は廢墟となり、そのそばを通り過ぎる者はみな驚き恐れて
ささやき、『何のために、【主】はこの地とこの宮に、このような仕打ちをされ
たのだろう』と言う。

26:40 彼らは、自分たちの咎と先祖の咎を、つまり、わたしの信頼を裏切って、
わたしに逆らって歩んだことを**告白**するが、

告白 = ワドゥ ◀ 3034. yadah (יָדָה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、
告白 16 回、

(NAS)(KJV): confess

(現代語)confession = ホダア (הִתְחַוָּה)

26:41 このわたしが彼らに**逆らって歩み**、彼らを敵の国へ送り込む**のである**。
もしそのとき、彼らの**無割礼の心**がへりくだるなら、そのとき自分たちの**咎**
の償いをすることになる。

26:42 わたしはヤコブとのわたしの契約を思い起こす。またイサクとのわたし
の契約を、さらにはアブラハムとのわたしの契約をも思い起こす。わたしはそ
の地を思い起こす。

@ (共) 26:40 しかし、もし彼らが自分と自分の先祖の罪、すなわ
ち、わたしを欺いて、反抗した罪を告白**するならば**、26:41 たとえわ
たしが彼らに**立ち向かい**、敵の国に連れ去**っても**、もし、彼らの**かた**

くなな心が打ち砕かれ、罪の罰を心から受け入れるならば、26:42 そのとき、わたしはヤコブとのわたしの契約、イサクとのわたしの契約、更にはアブラハムとのわたしの契約を思い起こし、かの土地を思い起こす。

(協共)はまた変わっているが面倒くさいので調べていない。

@罪の罰を心から受け入れるなら契約を回復しよう」という意味である。

@新改訳ではわけがわからない。

27:21 その畑がヨベルの年に渡される時、それは聖絶された畑として【主】の聖なるものとなり、祭司の所有地となる。

聖絶された = ◀ 2764. Cherem(חֶרֶם)(ヘレム) 38 回 ▶ 捧げられたもの、奉納物

27:26 ただし、家畜の初子は【主】のものである。初子として生まれたのだから、だれもこれを聖別することはできない。牛であれ羊であれ、それは【主】のものである。

聖別する = ◀ 6942. qadash(קָדַשׁ)(カダーシュ)175 回 ▶ 分ける、聖別する

27:28 ただし、人であれ家畜であれ、自分の所有の畑であれ、自分の持っているすべてのもののうちで、【主】に対して聖絶したものは、何であろうとそれを売ることはできない。また買い戻すこともできない。すべて聖絶の物は最も聖なるものであり、【主】のものである。

(改 4)聖絶したものは (改 2)絶滅すべき聖絶のもの
(共) 永久に・・・すべての奉納物

(へ) devoted (offering)(N) ◀ 2764. Cherem(חֶרֶם)(へレム)

38回 ▶ 捧げられたもの、奉納物

英語に訳すと **devoted (offering)** that may devote
a man to Yahweh

文中には動詞形も出てくる ◀ 2763. Charam(חָרַם)(ハラーム)52回 ▶
禁止する、献身する、根絶する

@ (共) 27:28 また、自分の持ち物のうちから、永久に主のものとして奉納したすべての奉納物は、人であれ、家畜であれ、先祖伝来の畑であれ、それを売ったり、買い戻したりすることはできない。永久に奉納物はすべて、神聖なもので主に属する。

27:29 人であって、**聖絶された者はみな**、贖われることがない。その人は必ず殺されなければならない。

聖絶された者はみな=(改2) 聖絶されるべきものは

@ (共) 27:29 特に、永久に神に奉納された奉納物が人である場合は、その人を買戻すことはできず、必ず殺さねばならない。

@29 節の場合、すなわち人の場合は「聖絶」と訳するのが正しいであろう。

@偶像や魔術に関わるものを処分する場合、売るのではなく、捨てるなり燃やすなりする必要がある

27:32 牛や羊の十分の一については、牧者の杖の下を通る十番目ごとのものが【主】の聖なるものとなる。

27:33 その良し悪しを見てはならない。また、それを取り替えてはならない。もしも、それを取り替えることがあれば、それも代わりのものも、ともに聖なるものとなる。それを買い戻すことはできない。」